むさし同窓会
編集発行
武蔵野市境4～13～28
東京都立武蔵高等学校
同窓会編集委員会
（電話武蔵野(51)4554番）
印刷所　小倉印刷株式会社
武蔵野市吉祥寺2の4の2

5月8日「むさし同窓会総会」

▷……　ことしも同窓会の総会が近づきました。5月8日（日）です。是非ともおそろいでお……◁
▷……でかけください。母校のようすもだいぶ変ってきています。先生がたも多勢お見えにな……◁
▷……ります。おでかけのうえ，思い出の一日をお過ごしください。……◁
▷……　ここに同窓会総会のご案内をかねて「むさし・同窓会」第2号をおとどけします。……◁

「着任の弁」

学校長・同窓会名誉会長
井上敬一



四年間、満員電車にもまれ、いやほどスモッグを吸ったので、今度は、都心を離れた所がいいなあと思っていた念願がかなって、すばらしい学校に赴任できた。しかし急増対策のあおりをくらって三種類の校舎が、まとまりもなく建てられていたり、グランドや玄関前の水たまりの解消が解決をせまられている。今まで人事異動の仕事ばかりやっていたが、現場にはいろいろの問題が山積しているようだ。「現場と役所」かつてこんな題で雑誌の特輯号を出したことがある。ここしばらくは、頭の切りかえが必要だと思っている。何といっても本校の校歌はすばらしい。歌詞も曲も他の学校にない特色を持ったものだとつくづく思う。

同窓会員のみなさんへ

同窓会長
高橋辰雄



武蔵高校同窓会の会員も益々ふえ、現在では七千人をこすほどの多くの会員になりました。会報二号の発行を機会に、同窓会発展のために、会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

同窓会の目的には、規約にもあるとおり、大きくわけて二つあると思います。一つは、会員同志でお互いに力になりあい、親和向上をはかることであり、その二は、母校の発展に寄与することです。

時代のちがいこそあれ、一つの屋根のしたで、しかも同じ〝武蔵〟という校風のもとで生活した私たちが、おたがいに連帯感を持ち、そのなかから、力になりあえる場面は限とないほどあると思います。

多くの職場や地域で、同窓生のグループができているということを聞きます。たいへんすばらしいことだと思います。しかしながらその反面、最近の同窓会の総会は低調だと指適されています。私自身も、そう感じます。昭和三十年ごろまでの同窓会の総会は、母校の講堂がいっぱいではいりきれないほどの会員があつまり、先生がたを囲んでのたのしそうな姿が多く見られたものです。低調な総会を、なんとかよい方向にもっていこうと役員会でも努力をしています。一年に一回、級友や先生がたにあえるたのしい一日である総会に、多くの皆さんが参加されるよう期待しています。先生がたも、たいへんたのしみにしておられますこの会報にも、母校の行事についてご案内をしてありますが、このような機会にも会員のみなさんがたが、積極的におでかけくださるようお願いします。在校生諸君の激励になりますし、行事をより盛大にすることにもなると思います。また、私たち自身も在校生時代の思い出がよみがえり、たのしいことだと思います。同窓会の役員会も、いつも顔ぶれが同じになってしまいました。役員のみなさんが会員の中心になってご協力をお願いしたいと思います。会員の皆さんのご活躍をいのります。

昭和四十年度の会計決算報告はこの表のとおりだす。これをご覧いただけば、おわかりと思いますが、名簿作成関係費用が、名簿売上げ経費をはるかに上回っています。皆さんのご協力を得て、名簿をできるだけ多く売りさばいて、名簿作成経費に充当したいと思います。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

おのおのの道に最善の努力を

前学校長・同窓会名誉会長
土屋順三



創立以来既に二十五年の歳月を重ね、卒業生も七千二百有余最近の新一年への入学希望者も男女それぞれ一・五倍前後とおちついており、しかも男女共中学校での成績上位者であり、殆んど大部分の者が学区合格の線に入り、百人前後の第二希望者が、現在本校に限っては男子の上位が沢山集り、成績の点においては男子系、女子系の区別は必要でない程に上位者が入学している。先輩諸君の努力が実をむすんだものと思う。

就職は毎年百パーセントであり、大学への進学も時には卒業生の数を上廻る数にのぼる事もあるが所謂国立有数大学への合格者にとぼしい。本校の生徒はおとなしくよくいう事もきき真面目によく勉強するが覇気に乏しいきらいがある。もっとがむしゃらの所、きびきびした所があってほしい。何となくでれでれしていて、米のめしと太陽はつきものだといった顔をしているのが多い。嵐にも耐え風にもめげないずぶとさとをもって左を見たり右を向いたりして流れに流されて行くような、だらしなさを、改めて意気地がないものは一人一人の生徒の覇気以外にない。先輩の諸君にも特にこの点をお願いしたい。時々学校にやって来て大いに活を入れてもらいたい。皆元気でそれぞれの道に最善の努力を捧げて下さい。そして幸福であれかしと祈る。

（昭和41年3月）

規約一部改正

幹事会で決め総会に提案

同窓会幹事会は、四月十五日に開かれ①総会準備②むさし同窓会発行についてなどを協議したほかつぎのように規約改正をきめ、五月八日の総会に提案することに決定しました。

【改正する点】
第五条（二）Ⅱ役員の項の一部
理事　各年度幹事の互選による男女おのおの一名と通常会員にして、本校現教職員であるもの。
幹事　各年度各組より男女おのおの一名。

【改正の趣旨】
理事ならびに理事会が学校との連絡を緊密にし、独自にしかも効果的に会務を管理することがし易くなること。
また、理事およそ二十名という旧規定は実状にそぐわないので、慣習のまま人員が加えられている事実を成文化したこと。

同窓会総会のご案内

ことしの同窓会の総会は、つぎのとおりに開催されますひさしぶりにクラスメートや先生方とおあいして、一日楽しい思い出などを語りあいたいと思います。今年より幹事の皆さんのおほねおりにより同期会のお部屋も用意してあります。また、OB合唱、落語、お琴、モダンバレー、エレキバンド等の行事も予定しております。いずれも同窓生が出演します。皆さんお誘いあわせのうえ、おでかけ下さい。

日時　昭和四十一年五月八日（日）午後一時から
場所　母校講堂
（役員の方は、当日午前十時までにお集り下さい）

むさし祭のご案内

今年のむさし祭は、つぎの日程で行なわれます。同窓生の方々も、どうぞおでかけ下さい。
〔文化祭〕九月二十四日（土）・二十五日（日）於・母校
〔体育祭〕十月二日（日）午前九時から（雨天順延）於・母校

音楽会合唱コンクールご案内

毎年行なわれております「音楽会・合唱コンクール」がことしはつぎのように開かれます。同窓生の方々も是非おでかけください。

日時　昭和四十一年十二月二日（金）午前九時から
会場　八王子市民会館（予定）

◇総会、むさし祭、音楽祭の案内はこの紙面をもってかえさせていただきます。

学問と行動

早大一政（第十六回卒）
山田　賢

山川草木転た荒涼。そんな感じのある早稲田キャンバスだが、この正面入口には門がない。庶民の中に生きる早大は社会に広く解放されていることを物語っているのだが、今年は正面入口に門ができた。学生運動のあり方について物議をかもしている今、悪文ながら卑見を述べてみたい。

早大に入学して予想以上の学生運動の激しさにまず驚く。キャンバスのあちこちに立てられた大看板から周囲一面にはられた無数のビラ、大声を張り上げる活動家達その周囲をとりまく大勢の学生。しかし反面学生運動に対する反発も学生間に数多く存在している。これは、やはり学生運動がまだ大衆運動となっていなくて、一部の活動家やその回りを取りまく人々に固守するとなると、学生運動が政治セクトに属することを非難するつもりはない。ただ一つの立場は、現代の教育の無味乾燥を述べ又、彼等活動家の論じた事に少なからず共感を覚え、その上学生運動に何ら不信を抱かない人々のみが集って騒いでいるに過ぎないことに帰因しているのではないか。学生運動に対し積極的、消極的に批判する人々を運動に組み入れることが出来ない理由は、現在の学生運動は政党活動の一面が強すぎるからだ。この両者のギャップを何んとかして埋めなくては学生運動は況して大衆運動とはならないだろう。ここで考えねばならないことの第一は、学生運動の指導者が大体に於いて何らかの政治セクトに属しており一般学生と遊離していることである。何も学生が政治セクトに属することを非難するつもりはない。ただ一つの立場に固守するとなると、学生運動が一般学生をその立場に引き込んで政治勢力を増大するための手段と化す危険があり、それはしいては学生運動に壊滅的打撃を与える結果ともなろう。第二にギャップの生じる原因は一般学生の無関心さである。よく行なわれている銅像前の集会を横目をにらんで通り過ぎて行く人達である。その人達の中には、本当に学生運動に疑問を感じている人もあろうし、学生運動など意を介しない人もあろう。それ故どうして学生運動が必要なのか、それを考えることが非常に重要であると思える。何故学生運動が必要であるのか？何故大学へ来たのか？まず学問の探究であり人格形成である。学問の探究とは科学的純アカデミックな立場を前提としており、かつ大学に於いてその学問追究の方法、手段が明示されるであろう。それを学んで何をなすのか？我々学生はいずれは社会に出るわけであるが、その社会の現実を極めて純粋な立場で現在のところ眺められる。社会の現実を注視し、大学で学んだことによって現実を改革し正しい道を進むのが本道ではないか。「学生は学問が本分だ」との声をよく聞く。成程そうだ。しかし何故の学問をなすのか。それを考える必要があるのではないか。「学生は学問が本分だ」といって学生運動を非難するのは全く筋が通らない。死んだ学問は御免だ。我々学生はしっかりと自己を見つめ、まっすぐに前進しなければならないのだ。

三月ともなると、今年卒業する高校生には気を落ちつかせないものがたくさん出てくる。道端ですれちがう高校生にもなんとなくせわしさが感じられる。

思えば、二年前の今頃の私は卒業もすみ、これから先、浪人生活をおくることが確定していた。その時の私は、生活環境が変わることの不安が心の中に渦巻いて、なにから手をつけていいか分らず毎日ブラブラしていたように思う。そのような時、なにげなく開いていた私のクラスの卒業文集の中で兵頭先生の「君らの前に大きな未来があるのだから、武蔵のことは全部忘れてしまえ。」という主旨の文に私は出会い、自らに発破をかけ、これを機に勉強に没頭しはじめたように覚えている。

私の行った予備校に二千人近くの人達が必死になって勉強している。浪人生活は戦いの生活である。毎日々々たった一点でもあげようと鏡って勉強している。そこでは、現代の教育の無味乾燥を述べた所で何の気休めにもならない。いくら批判しても来年の三月の入学試験に合格しなければなんにもならないという考えが、そこに支配しているのである。休み時間も知らない人とは気楽に話をする様な雰囲気ではなかった。この様な殺伐とした生活において、私はオアシスの役目をするのが、同族意識あるいは同郷意識とも言うべき武蔵のかもしだすものであることを知った。それを具体的に言えば武蔵の同窓生と言えるであろう。その一つの現れとして、友達も容易に出来ないような所でも武蔵の人々は、武蔵だけでまとまっている。

確かに、先生の言うように目標に向かって行く時は、武蔵と言うものを忘れなければならない。忘れなければ先へ進まない。しかし一般にどんな目的に向かおうともたいてい道は険しく長いものだ。そして、砂漠の真ただ中に一人ううろうろ進むべき方向がわからずさまよう時が少なからずあるだろう。なにしろ人生は長いのだからそのような時、以前なんらかで知り会った人に会ったらなんとうれしいだろう。今まで会っても会釈もしたことのない人でも、ただ武蔵で顔だけを知っていたというだけでおそらく自分から進んで会釈し話しかける気持にかられるであろう。何かする場合、武蔵を忘れなければならないのだが、そういう時にこそ武蔵を欲するようです。

要するに、私達の前には、なすべきことはありすぎるくらいたくさんある。そのほとんどは、自分で考え、自分で実行しなければならない。人口過剰の日本においては個々の人間の存在すら無視されがちであるから、何をする上にも思うようには行かないであろう。

自分というものを見失って途方にくれた時、その傷ついた心を静かに置ける所、それが武蔵というものでないであろうか。

職場ではなくてはならない存在として認めてもらいたいと願っている。勿論、そのためには、どんな仕事でも責任を果し、自ら満ち足りた心境で働いてゆきたいと思っている。また、いつも笑顔を忘れず、前向きの姿勢でやってゆきたい。そして、武蔵の名を恥ずかしめないような行動をしていくつもりである。

最後に、仕事の上でも日常生活でも、常に夢を持って、生きてゆきたい……。

休憩所

都立大工学部（第16回卒）
乾　吉雄

三月ともなると、今年卒業する高校生には気を落ちつかせないものがたくさん出てくる。道端ですれちがう高校生にもなんとなくせわしさが感じられる。

思えば、二年前の今頃の私は卒業もすみ、これから先、浪人生活をおくることが確定していた。その時の私は、生活環境が変わることの不安が心の中に渦巻いて、なにから手をつけていいか分らず毎日ブラブラしていたように思う。そのような時、なにげなく開いていた私のクラスの卒業文集の中で兵頭先生の「君らの前に大きな未来があるのだから、武蔵のことは全部忘れてしまえ。」という主旨の文に私は出会い、自らに発破をかけ、これを機に勉強に没頭しはじめたように覚えている。

私の行った予備校に二千人近くの人達が必死になって勉強している。浪人生活は戦いの生活である。毎日々々たった一点でもあげようと鏡って勉強している。そこでは、現代の教育の無味乾燥を述べた所で何の気休めにもならない。いくら批判しても来年の三月の入学試験に合格しなければなんにもならないという考えが、そこに支配しているのである。休み時間も知らない人とは気楽に話をする様な雰囲気ではなかった。この様な殺伐とした生活において、私はオアシスの役目をするのが、同族意識あるいは同郷意識とも言うべき武蔵のかもしだすものであることを知った。それを具体的に言えば武蔵の同窓生と言えるであろう。その一つの現れとして、友達も容易に出来ないような所でも武蔵の人々は、武蔵だけでまとまっている。

確かに、先生の言うように目標に向かって行く時は、武蔵と言うものを忘れなければならない。忘れなければ先へ進まない。しかし一般にどんな目的に向かおうともたいてい道は険しく長いものだ。そして、砂漠の真ただ中に一人ううろうろ進むべき方向がわからずさまよう時が少なからずあるだろう。なにしろ人生は長いのだからそのような時、以前なんらかで知り会った人に会ったらなんとうれしいだろう。今まで会っても会釈もしたことのない人でも、ただ武蔵で顔だけを知っていたというだけでおそらく自分から進んで会釈し話しかける気持にかられるであろう。何かする場合、武蔵を忘れなければならないのだが、そういう時にこそ武蔵を欲するようです。

要するに、私達の前には、なすべきことはありすぎるくらいたくさんある。そのほとんどは、自分で考え、自分で実行しなければならない。人口過剰の日本においては個々の人間の存在すら無視されがちであるから、何をする上にも思うようには行かないであろう。

自分というものを見失って途方にくれた時、その傷ついた心を静かに置ける所、それが武蔵というものでないであろうか。

職場ではなくてはならない存在として認めてもらいたいと願っている。勿論、そのためには、どんな仕事でも責任を果し、自ら満ち足りた心境で働いてゆきたいと思っている。また、いつも笑顔を忘れず、前向きの姿勢でやってゆきたい。そして、武蔵の名を恥ずかしめないような行動をしていくつもりである。

最後に、仕事の上でも日常生活でも、常に夢を持って、生きてゆきたい……。

就職

銀行勤務（第十八回卒）
野崎美佐保

日本興業銀行。これが私が社会人としての第一歩をふみだす職場である。

三月某日、朝六時半起床。満員電車に揺られて市ケ谷別館に到着。一、二時間目、講義。始まると頭が垂れコックリコックリ運動が始まる。三、四時間目、応接の実習。先輩の指導で「いらっしゃいませ。……」とやる。スライドを見て簡単にできそうだと思ったことも、なかなかうまくゆかない。五、六時間目珠算。テストである。この珠算にはだいぶ頭を痛めている人が多い。六時半帰宅。

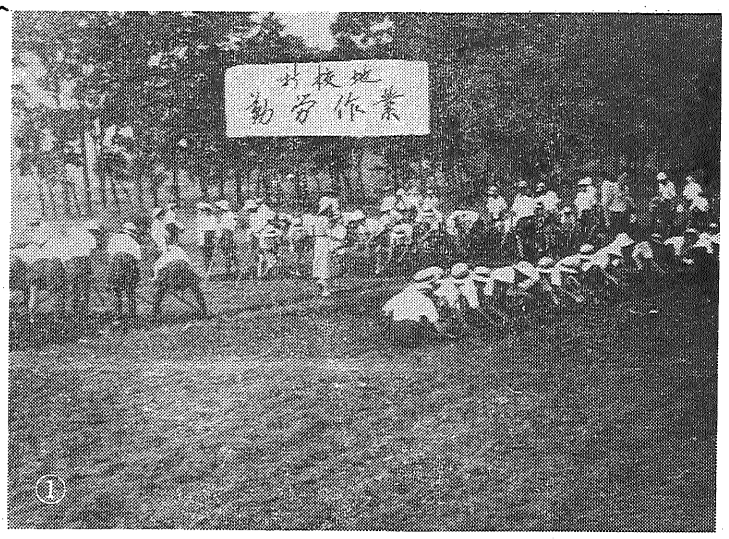
これが、新入行員講習のある一日である。十六日から始まったこの講習も、あとわずかで終る。四月一日からは、正式行員として職場に足を踏み入れることになる。

そうなれば、もう講習のように武蔵という温室を出たばかりの甘えた気持ではいられなくなる。自分が、この私が一人前の社会人として扱われる。という不安と期待、また学校を離れた寂しさを、改めて感じているこの頃である。

思えば夏に内定して八カ月になる。あの時は、落ちた夢を見たので結果を先生に聞けずに友に聞いてもらった。内定とわかった時の喜びを相像できるだろうか。今はこの喜びが大なる不安と期待に変っている。

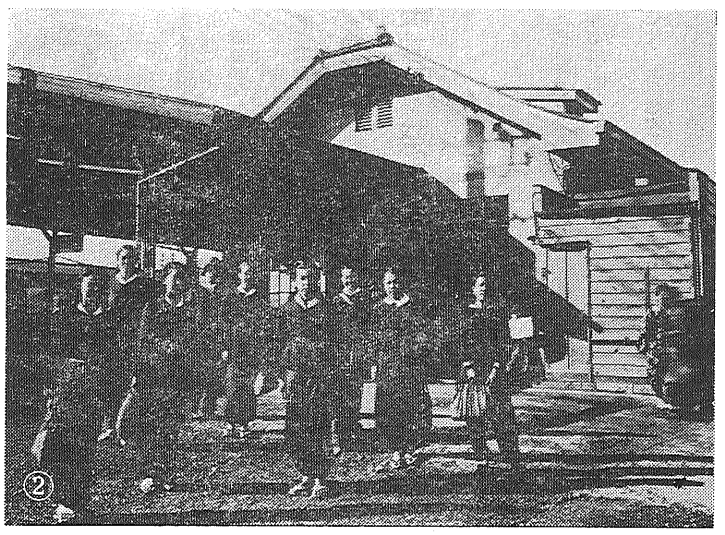
私は、誰でも考えることだが、

思い出のアルバム

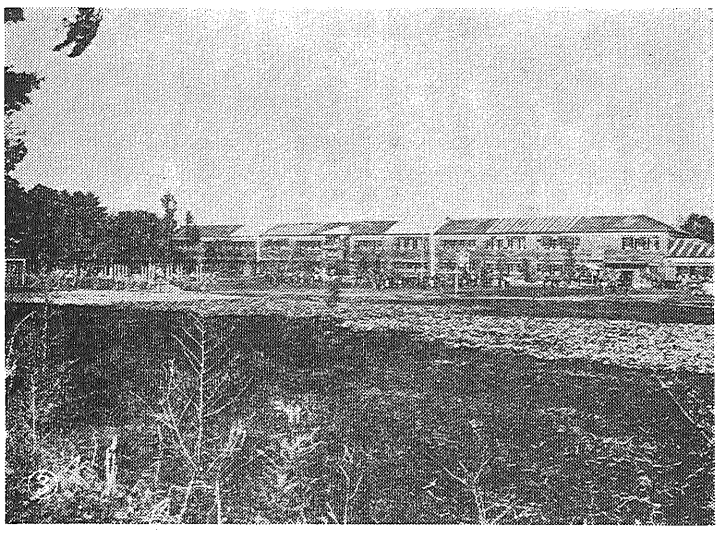


① 昭和十五年四月「東京府立第十三高等女学校」として生まれた母校は、はじめ中野区内の仮校舎で開校した。翌昭和十六年には「東京府立武蔵高等女学校」と改名され、十月十四日には現在地に新校舎を建設するための地鎮祭が行なわれた。

この写真は、その前後のころの新校地整地作業。教職員・生徒が一体となり学校をあげて勤労奉仕にとりくんだ。先生を中心に、そろいの整服で並んで作業をするようすは、整然とした作業ぶりがうかがえる。そのころは森の中の学校と呼ばれるほどに畑と林の入りくんだ武蔵野だったという。ちょうど太平洋戦争に突入する直前だ。



② 昭和二十二年ごろの武蔵境駅での写真。物資が極度に不足している時代。戦時中のなごりの「モンペ姿」に下駄ばき手さげ袋を持って生徒は通学していた。駅にはバスの乗り入れもなく、駅前付近も静かだった。いまではバスがつぎつぎに発着し、駅前には鉄筋コンクリートのビルも建ち、駅舎も改築され、ずっかり姿を変えてしまっている。



③ 同じく二十二年ごろの校庭と校舎。終戦後でもっともひどい食糧事情により臨時休校」したと記録にある。校庭の手まえの方は、畑になっていて先生も生徒も耕作に従事した。



④ 昭和三十七年七月の一年生全員の夏季施設。入笠山すずらん小屋でのスナップ。武蔵に入って、みんなそろったはじめての旅行だけに高校生活の思いでの最初のものだったろう。戦後はじめての夏季施設は二十三年七月で「マダ食糧難デ、オ寺ニ泊ッテモ米シイゴ馳走ダッタネ。一汁、一菜程度ダッタ」とあり、三十七年とくらべたらたいへんなちがいだったろう。いずれにしても、夏季施設は思い出深い行事だ。

新卒業生の進路

【昭和41年度卒業生就職状況】（数字は就職者数）

| | | |